

福岡医発第749号(地)
平成20年6月21日



各 医 師 会 長 殿

福岡県医師会
会長 横倉 義武
〔公 印 省 略〕

「公立病院改革ガイドラインを考えるセミナー」 の開催について（ご案内）

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、標記セミナーについて、佐賀県医師会、長崎県医師会、本会の主催により下記のとおり佐賀市において開催することと致しました。

ご承知のとおり、公立病院改革については、総務省から「公立病院改革ガイドライン」や「公立病院改革ガイドラインQ&A」が公表され、今後、地方公共団体においては、ガイドラインやQ&Aに沿って、遅くとも2008年9月までに改革プランを策定することになります。このガイドラインの目的とするところは「医師の確保」ですが、「医師不足」に始まる破綻という悪循環を阻止し、公立病院の役割や選択と集中が民間病院に与える影響とそれがいかに県民にメリットがあるかを議論していただくために企画いたしました。詳細は、別添をご参照下さい。

つきましては、貴会会員が多数ご出席くださいますよう、ご案内方よろしくお願い申し上げます。

なお、

- 1) 参加希望の場合は、別紙の参加申込書にて7月5日までに福岡県医師会地域医療課（092-411-6858）宛てお申込みくださいますようお願い致します。
- 2) 参加者は会員に限らせていただきます。
- 3) 参加申込者への受講決定通知は発送いたしません。参加者多数等で参加をお断りする場合は、直接申込者宛てにFAXにてご通知申し上げます。

記

公立病院改革ガイドラインを考えるセミナー

1. 日 時：平成20年7月19日（土）14：30～17：40
2. 場 所：アバンセ（佐賀県立女性・生涯学習センター）
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11 どんどんの森内（TEL 0952-26-0011）
3. 対 象：自治体病院のある市町村長・議員・病院長等、自治体病院のない市町村長・議員、県行政、県議会議員、大学関係者、報道関係機関、医師会員、郡市医師会
4. 内 容：別紙1参照
5. 会 費：1,000円（会員、報道関係機関は無料）
6. 主 催：社団法人佐賀県医師会、社団法人長崎県医師会、社団法人福岡県医師会

小郡三井医師会より

広報担当理事 廣瀬真恵
会長 丸山 泉

参加ご希望の方は直接福岡県医師会へお申し込みください。

福岡県医師会事務局 地域医療課 行き
(FAX 092-411-6858)

「公立病院改革ガイドラインを考えるセミナー」 —参加申込書—

住 所 _____

医療機関名 _____

参加者名 _____

電話番号 _____

FAX番号 _____

医師会名 _____

※ 7月5日までに回報下さい。

『公立病院改革ガイドラインを考えるセミナー』企画書

主催：社団法人佐賀県医師会、社団法人長崎県医師会、社団法人福岡県医師会

後援：佐賀県、長崎県、福岡県、佐賀新聞社、西日本新聞社、株式会社じほう（以上、予定）

総務省から 2008 年 4 月 15 日「公立病院改革ガイドライン Q & A」76 項目が懇切丁寧に公表されました。今後ガイドラインと Q & A に沿って改革プランを策定する事になりますが、この改革プランは遅くとも 2008 年 9 月までに策定することが期待されています。各々の公立病院は医業収支比率・職員給与比率・病床利用率の必須 3 指標の目標数値達成に苦慮されています。医師不足解消のために、思い切ったガイドラインですが、総論賛成各論反対で骨抜きを画策するようであれば、町の病院は早晚全て消えゆく運命です。

福岡、長崎、佐賀各県内の公立病院がタ張市立総合病院以上に財政的にも追い込まれている事が、県民にほとんど知られていません。

このガイドラインの目的とするところは「医師の確保」です。医師不足に始まる「赤字経営」「診療科の中止・廃止」と進行して、「収入減からの破綻」という悪循環は絶対に阻止されなければなりません。「これが出不来ない」「あれもだめ」は厳しく県民が監視し、聖域に挑戦して医師確保に即効性があり現実的な収支改善の手法があることを県民に知っていただき、ごまかしの改革を粉碎しなければなりません。

選択と集中が民間病院に与える影響とそれがいかに県民にメリットがあるかも議論していただきます。

日時：2008 年 7 月 19 日（土）14：30～17：40

会費：1,000 円（会員、報道関係機関は無料）

場所：アバンセ（佐賀県立女性・生涯学習センター）

〒840-0815 佐賀県佐賀市天神三丁目 2-11 どんどんの森内（TEL 0952-26-0011）

○挨拶

社団法人佐賀県医師会 会長 沖田信光（5 分）

○来賓ご挨拶

佐賀県健康福祉本部長 佐藤敏行氏（5 分）

○基調講演

座長：佐賀県健康福祉本部医療統括監 十時忠秀 氏

- ・「公立病院改革ガイドラインと財政支援措置のポイント……Q & A の読み方」（45 分）

総務省 自治財政局 官房審議官（公営企業担当） 榮畑 潤 氏

座長：佐賀県健康福祉本部医療統括監 十時忠秀 氏

- ・「絵に描いた餅にならない改革プラン策定のために 聖域に踏み込む改善事例 10」（30 分）

総務省 公立病院改革懇談会座長 長 隆 氏

○パネルディスカッション「公立病院の役割とは何か」

（15 分×4 人、ディスカッション 45 分）

パネリスト

座長：佐賀新聞社編集主幹 寺崎宗俊 氏

佐賀県健康福祉本部医療統括監 十時忠秀 氏

- ・向原茂明・長崎県福祉保健部参事監（医師）
- ・横尾俊彦・佐賀県多久市長
- ・宮崎耕治・佐賀大学医学部附属病院長
- ・福岡資麿・衆議院議員（佐賀県第 1 選挙区）・衆議院厚生労働委員会委員

○案内（先）：自治体病院のある市町村長・議員・病院長等、自治体病院のない市町村長・議員 県行政、県議会議員、大学関係者、報道関係機関、医師会員、都市医師会